

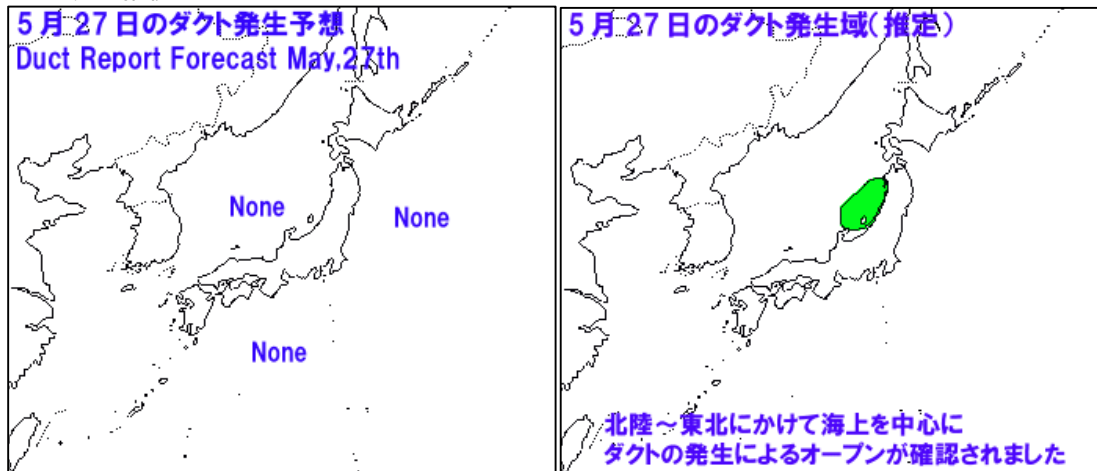
勢力を強めた高気圧に覆われダクト発生！

2003年5月27日～5月31日 JG0TEV 中村 豊

1.はじめに

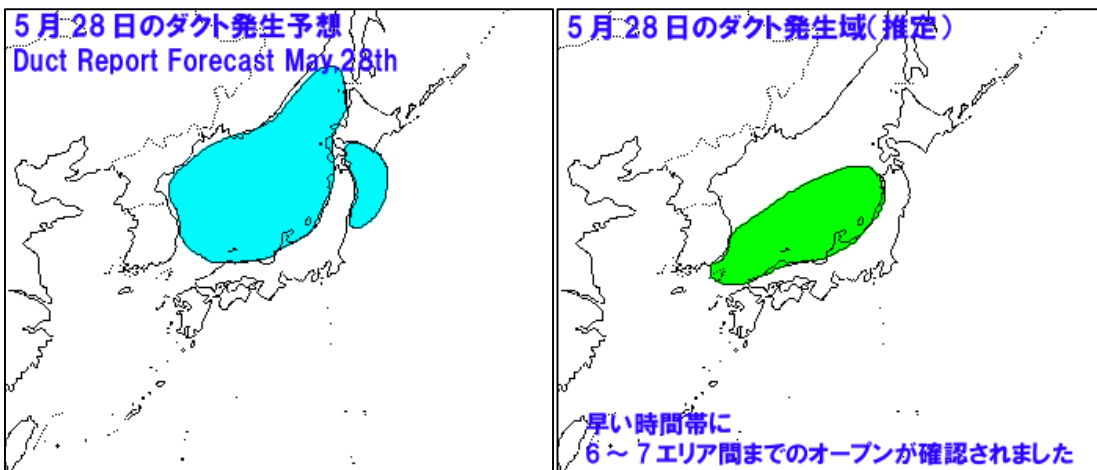
5月27日～31日にかけて移動性高気圧に覆われダクト発生によるオープンが確認されました。気象解析によってダクトが発生しやすかったことの裏付けを行います。

<ダクト発生推移>



<27日のオープン情報>

夜間、北陸～東北にかけての海上を中心にダクトが発生、0-7エリア間オープンを確認した。
佐渡レピーターにてJM7BWU-JG0TEV交信。
佐々木さん情報では佐渡レピーターRSピーク57.



<28日のオープン情報>

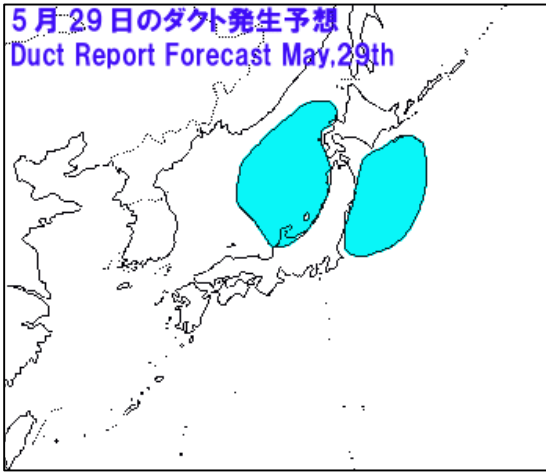
J10MPH丸山さんからの情報・・・
今夜のダクトですが、糸魚川で4エリアがFBに聞こえました。
時間は、一瞬(?)だったようですが・・・

<28日のオープン情報>

JH7LLT渋谷さんからの情報・・・
5/28 20:00前は対馬のレピータもフルスケールの状態でしたが、後は落ちてしまい何も聞こえなかったです。夜になっても温度が下がらず、ムシムシの山形でした。
早い時間のほうが良かったが、平日でもあり相手がいなかった。残念！

JG0TEV移動運用結果・・・

20時前後に越路町移動運用を実施、7-0オープンは確認したがまもなくダクト消失。
21時過ぎに長岡市移動運用を試み9-0エリア間オープンを確認したがまもなくダクト消失。

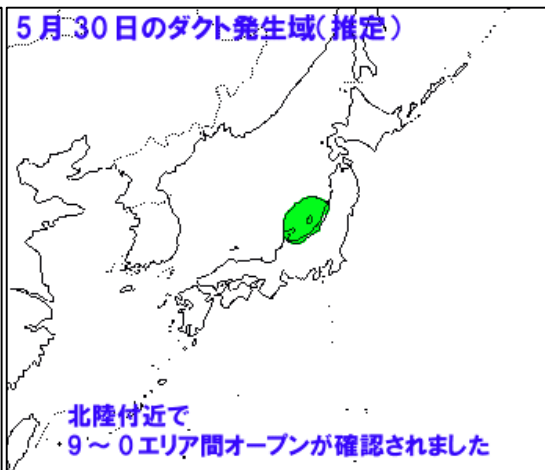
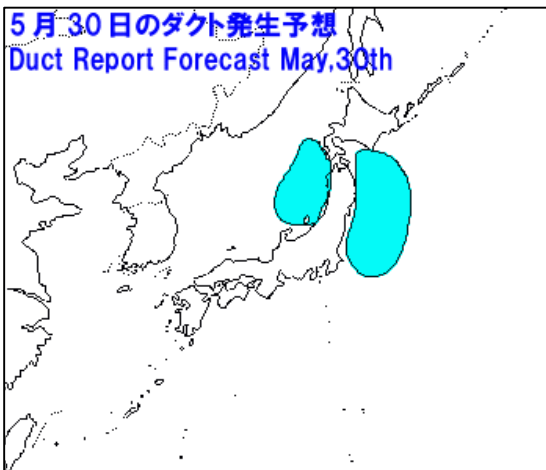


<29日のオープン情報>

JM7BWU佐々木さんからの情報・・・
輪島ただいまRS57にて入感中。(20:13)

JG0TEV移動運用結果・・・

長岡市移動にて弱い9-0オープン、越路町移動にて弱い7-0オープンを確認した。

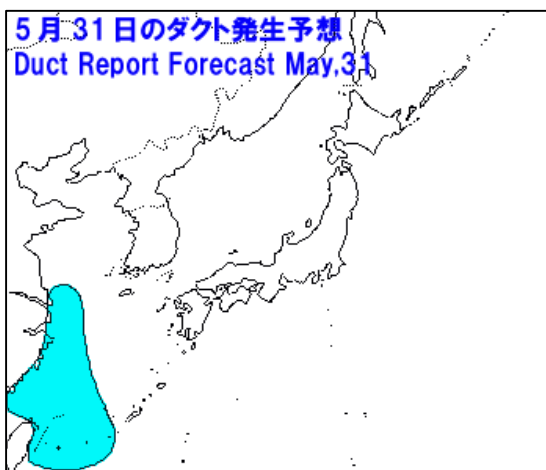


<30日のオープン情報>

JE9VJZ矢田部さんと佐渡レピーターで交信。
氷見から佐渡レピーターフルスケール！
9～0エリア間オープンを確認した。
7～0オープンもあった可能性もある。

JM7BWU佐々木さんからの情報・・・

ダクトの方ですが、イマイチ強くないみたいです。佐渡レピーターはQSBからみつつRS51～41といったところ。
佐渡以外はこの時間何処も入ってきません。もうちょっと早い時間だったら強かったかもしれません。



< 31日のオープン情報 >

エマグラム上で輪島上空にダクト発生状態が確認できる。

夕方以降、自宅からの佐渡レピーターワッチ状態でフェーzingが確認されたことから能登半島から

佐渡沖付近にかけてダクトが形成されていたと考える。

これは午後から北陸付近が局地的な晴天域に覆われ、上空に乾燥空気が流れ込んで湿った下層大気との間でダクトが形成されたと考えられる。

2. 気象解析からダクト条件に照らしあわせ検証を行う

1. 勢力を強める背の高い高気圧に覆われていたか？

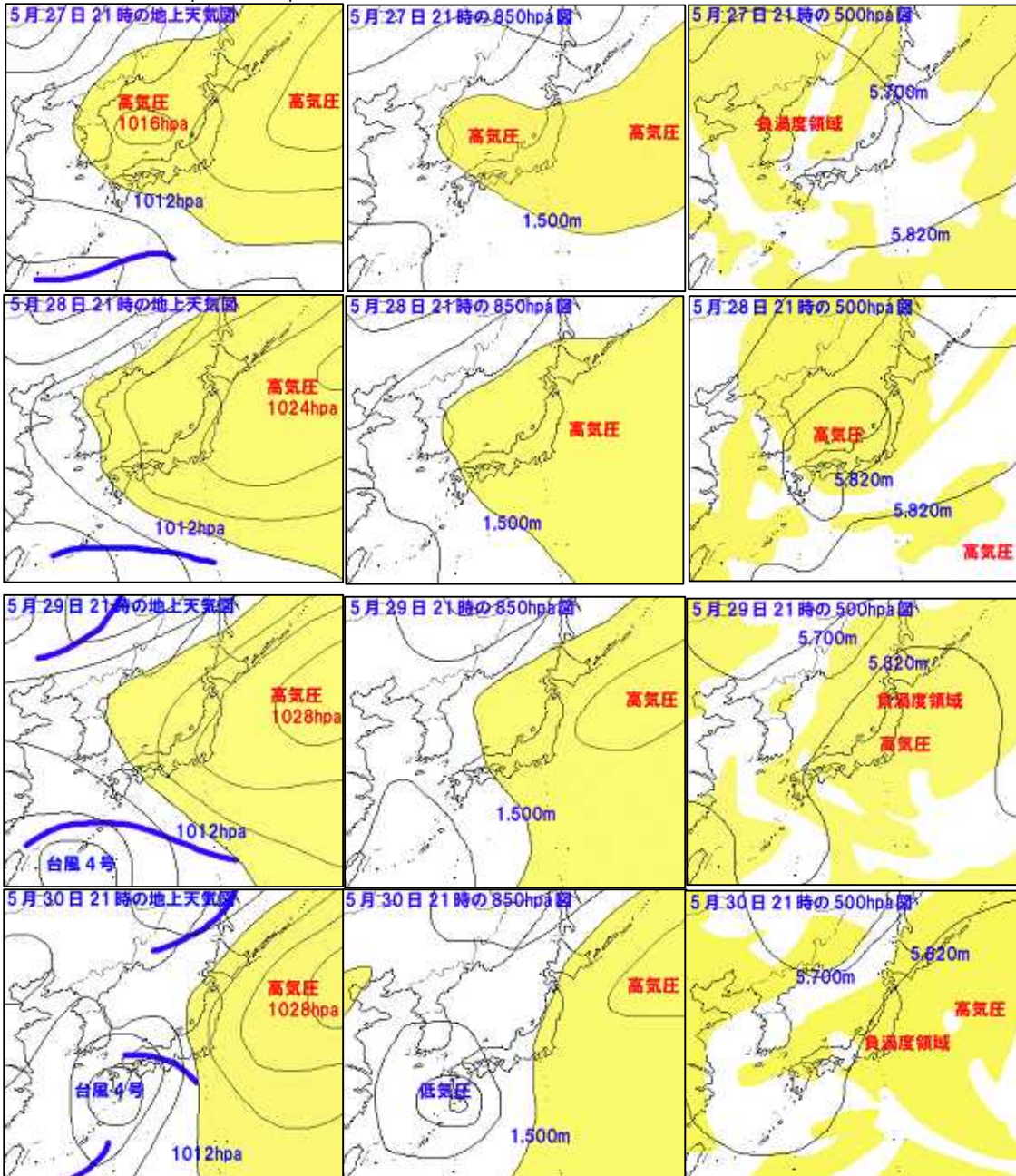
28日をピークに本州付近は高気圧に広く覆われていたことがわかります。

地上天気図の1012hpa等圧線、850hpa図の1,500m等高線、500hpa図の5,820m等高線の位置から上空にまで伸びる背の高気圧であったことがわかります。

2. 負過渡領域に覆われていたか？

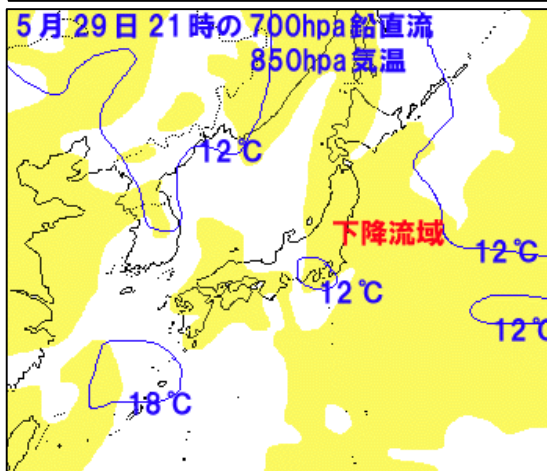
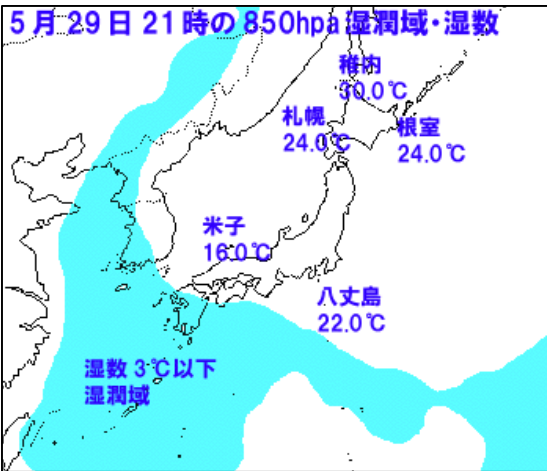
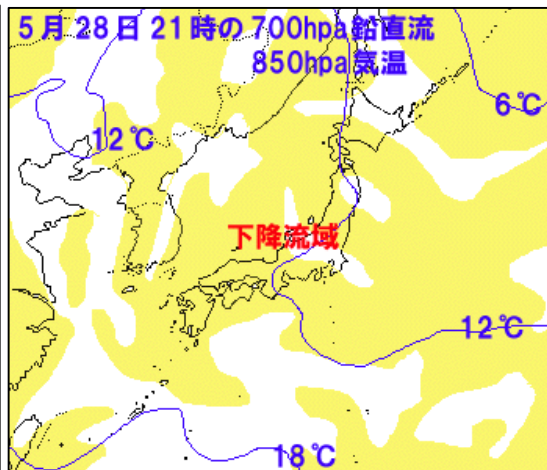
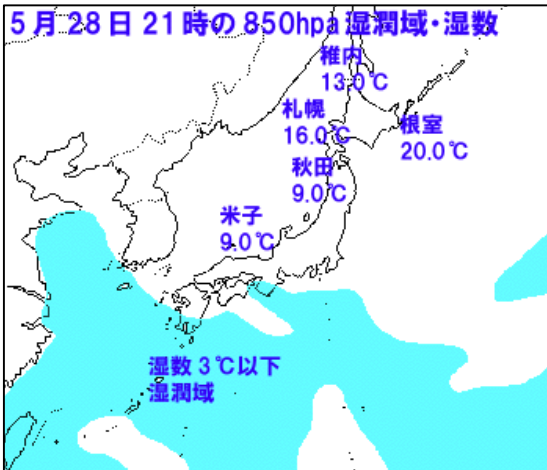
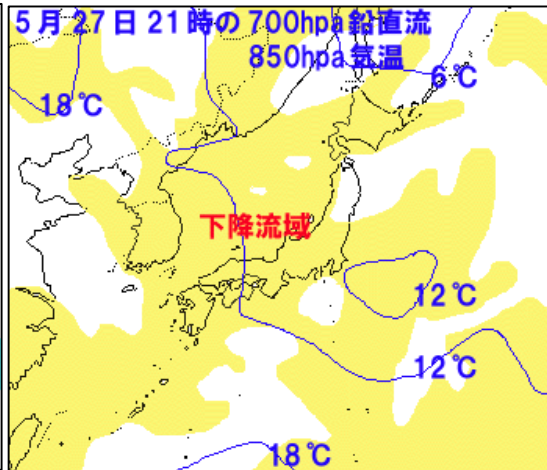
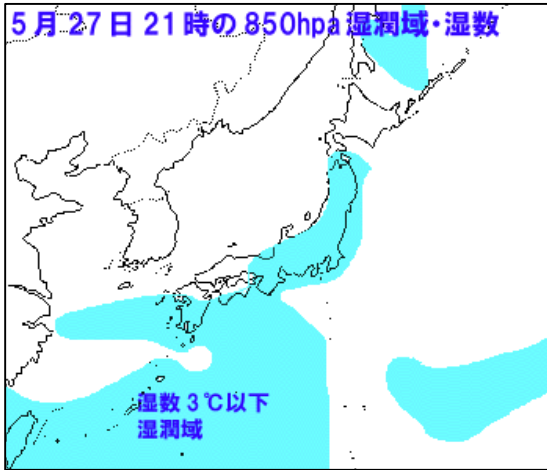
期間中日本付近は高気圧に伴う負過渡領域に覆われていたことがわかります。

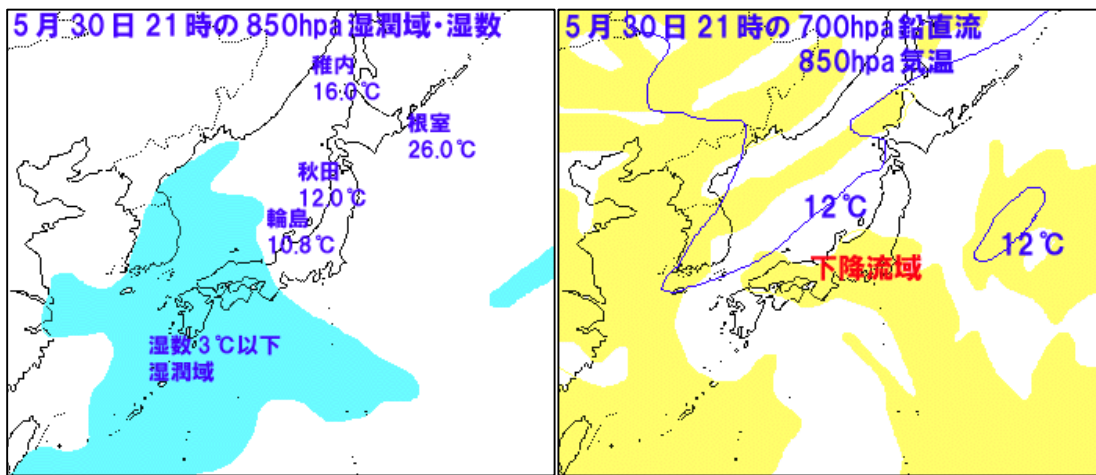
< 地上天気図/850hpa図/500hpa図 >



3.乾燥空気の流れ込みと寒気に伴わない下降流域に覆われていたか？
 850hpa面での乾燥空気の流れ込みは28日から30日まで続いたことがわかります。
 また、下降流域の広がりには27日から29日まで続いたことがわかります。

< 850hpa湿数図・・・上空約1,500m付近の空気の乾燥状態/700hpa鉛直流図 >
 (湿数 = 気温 - 露点温度 ……湿数が大きいほど空気が乾燥している)





以上から移動性高気圧に覆われる乾燥空気による下降流の発生によってダクトが形成されたものと考えます。

3.考察

期間中は高気圧が勢力を強め上空に乾燥空気が流れ込み下降流域に覆われたことによってダクトが発生したと考えます。